

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成25年度第6回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	2014年2月24日（月） 14:00～16:00
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：椎木俊秀、西山直美、笹本秋夫、長田文男、有賀講陽、須永美智子、岩瀬香世、押田友紀子、古川総子、高橋毅、市川和男、菅原幸次郎、榎本勝、 欠席者：森本章、見崎洋一郎、鈴木君子、笹本悦弘、鎌田隆太
議 題	1 報告事項 (1) 第5回日中活動系サービス事業者部会の開催報告（資料1） (2) 第5回居住系サービス事業者部会の開催報告（資料2） (3) 第5回訪問系サービス事業者部会の開催報告（資料3） (4) 第5回相談支援サービス事業者部会の開催報告（資料4） 2 議題 (1) プロジェクトチームでの課題の検討状況について ① 障害者のくらしを考える部会（資料5） ② 障害者の「はたらく」を考える部会（資料6） 3 その他
結 論 <small>（決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）</small>	議題1について： (1) 第5回日中活動系サービス事業者部会の開催報告 ・虐待防止の取り組みについて各事業所で報告 ・次回の会議では、ケースを持ち合って話し合う。 (2) 第5回居住系サービス事業者部会の開催報告 (3) 第5回訪問系サービス事業者部会の開催報告 ・新規の2ヶ所の事業所の紹介。 (4) 第5回相談支援サービス事業者部会の開催報告 ・事業所の紹介の方法についてなど (5) 大雪時の対応について 議題2について： (2) プロジェクトチームでの課題の検討状況について ① 障害者のくらしを考える部会 ・防災マップと要援護者登録の進捗状況の確認。 ② 障害者の「はたらく」を考える部会 ・就労プロジェクトのセミナーは商工会にも協力を求める。 ・開催は次年度の秋ごろを目指すことになる。 議題3について： その他 特になし
審 議 経 過	・配布資料の確認

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

- 会 長
- 委 員
- 事務局

●まず、事務局から各部会と防災関連の報告をしていただきたい。

■前回の自立支援協議会の議題にもあった、防災計画の策定期と要援護者登録について報告したい。地域防災計画については、防災安全課が東京都の防災計画に基づいて計画途中である。パブリックコメントを3月3日から3月12日の間に行うことを確認しており、年内に防災計画を策定することになっている。要援護者登録については検討委員会がたたき台を作っている状況である。検討委員会には障害福祉課や高齢福祉課も参加して実施される。

各部会の開催状況の報告については、日中活動系サービス事業者部会は1月22日に市民総合センターボランティアセンター作業室で実施された。資料の4頁には居住系サービス事業者部会の報告が示されている。訪問系サービス事業者部会は1月21日に市民総合センター小会議室委で開催されている。相談支援サービス事業者部会は1月28日市民総合センター小会議室で開催された。

●各部会から補足事項はあるか。

○日中活動系サービス事業者部会は資料にもあるように、各事業所が虐待防止のための現状取り組んでいることを報告した。次回の会議ではマニュアル作成についての意見交換やそれぞれの事例を持ち合っグレーゾーンになっている点について話し合う予定である。

○各部会からの報告からは外れるが、先日の大雪のときに障害者から市役所に通報や支援の要請はあったか。

■今回の大雪については特になかった。

●訪問系サービス事業者部会から補足はあるか。

○新規の事業所が2ヶ所できたという話や通園は保護者が自主送迎している状況などが話し合われた。

●相談支援事業者部会は補足はあるか。

○市から計画相談を保護者や本人に説明するときに、家の近くの相談事業所を紹介されたが、普段利用している事業所の法人内にも計画相談の事業所があったことを知った。市からの説明が不十分であるのではないかという報告があった。

●話は戻るが、先ほどの大雪関連で困ったことはあったか。

○利用者からの声よりもむしろ、職員が来られない状況など施設側の方が大変だったのではないだろうか。

○人工透析を必要とする方などは大雪で足がなくなった場合に、クリニックにいけない状況になるので、対策が必要である。市町村はどういった方がどこに住んでいるのか日ごろから把握する必要があると考える。

○本校（特別支援学校）ではスクールバスの遅れなどがあり、始業を2時間遅らせる対応をとった。

○一人住まいの方（特に高齢の方）の連絡手段などは、今後考えた方がいいと感じた。

○計画相談などの面談の予約が入っている方でキャンセルする方がいたので、電話で状況を確認したりした。薬を取りに行くのも大変な状況も十分に考えられるので、予備薬などは必要だと改めて感じた。

○送迎バスが出せない状況にあったので、高齢者在宅サービスなどは休園の対応を取った。

○就労施設では2時間遅れでの開始とし、土日は施設の職員が雪かきに出た。反省点として2回目の雪のときに午後2時半に帰ってもらうことにしたが、午後3時にはチェーンをはかなければ車をつかえない状況になっていた。その辺の判断を早くする必要がある。

●他に何か意見はあるか。

○虐待防止の取り組みに関しては資料を読む限り施設によって取り組みにかなり差があるように感じた。東京都内でも問題が起きているので、対策が必要だと考える。

●虐待に関しては今後、自立支援協議会でも議題としていく必要がある。

○各施設の職員によっても虐待の認識は違うので、日中活動系サービス事業者部会で共通の認識を作れたらよいと思う。

●虐待については日中活動部会で内容をまとめてもらい、それを自立支援協議会で話し合っていきたい。

（休憩）

●ここで事務局から報告がある。

■前回の会議で説明したが、障害者の意識調査の進捗状況が若干遅れている。また、各市区町村の自立支援協議会の活動内容等が乗っている資料を配らせていただいたので、参考にしていきたい。

●意識調査の項目については、現在のサービスの利用状況や希望を具体的に示してもらうようにしてもらった。また、SPコードも追加してもらった。さらに地域生活支援事業を今後どう取り組んでいくのかなどを注視していきたい。今後の予定はどうなっているのか。

■年度内には集計結果は出ている予定であるので、新しい計画案に反映していく予定である。

●次に暮らしを考える部会から報告をしていただきたい。

○今回は防災マップの作成と要援護者登録について議題になった。次回防

災マップを作る際には障害者に対しての情報提供があるマップを作っていたほしいという話になった。提案として、①防災マップの欄外に、障害者向けの避難方法等を記載してもらうようにする。②マップ内には障害者の特性に応じて必要とする施設等の記載をお願いしたい。要援護者登録の推進としては、東大和市でつくっている要援護者制度についてのパンフレットがよいものなので、武蔵村山市でもそういったものを作ってもらいたい。その他にヘルプカードの話についても事務局から説明してもらいたい。また、聴覚障害者と示すスカーフの支給についてと難所に備蓄されているものについての確認などや相談支援事業がどのように進んでいるのかももう少し情報がほしいといった話が出た。最後に部会に障害福祉課から職員が出席してもらっていないので、課長や主査でなくても出席してもらいたいという意見が出た。

○防災マップへの提案などが防災安全課などに伝わっているのかが重要ではないか。

●自立支援協議会で話された内容を防災安全課に伝わるようにしてもらいたい。

■防災安全課としてもこれからは高齢福祉課や障害福祉課に照会をかけてくると考えられる。

○今までで出た意見などは防災安全課に伝わっているのか。

■地域防災計画などには反映されていないかもしれないが、具体的なことはマニュアルなどに反映されていくと考える。

○私たちが話している内容は計画には反映されていないのか。

■地域防砂計画には反映されていない。障害者は計画の段階では要援護者というくくりになっている。その先の段階で障害者への対応となっていく。自立支援協議会で話されている内容は運用の話になるので、今後マニュアル等ができたときに反映されていくと考える。

●現在、話し合っている内容がいつ具体化するのかを確認していただきたい。

○今回、パブリックコメントを求める計画原案には障害者の対応について自立支援協議会の会長が市長にお願いをしているので、災害時の障害者への対応が書いてあると思われる。

●計画原案については内容を確認していただき、必要があればパブリックコメントをしていただきたい。

○ヘルプカードについての進捗状況はどうなっているのか。

■ヘルプカードは26年度予算に計上されるので、現段階では内容を示すことは難しい。次回の自立支援協議会にはたたき台のようなものを示せると思う。

○聴覚障害者へのスカーフ給付については、予算がどの程度かかるかなどを部会で検討してから自立支援協議会にかけるということになっている。

●相談支援事業の展開についてだが、資料には立川市の事例をあげている。具体的にどのようなものか。

○相談支援事業の講演会や相談支援事業者連絡会と自立支援協議会の連携などをされているが、武蔵村山市でも自立支援協議会で相談支援事業の意見交換などをして相談支援事業所をバックアップしていくこともできるのではないか。

●現在は事業所間での情報交換はあるようであるが、そこに自立支援協議会もかかわっていく必要があるのではないか。これらについて意見はないか。

○社会福祉協議会でも 1 月に相談支援事業所についての講演会を開いた。当日は 40 名ほど参加してもらった。市としてこれからどのように進めていくのか示してほしいと思う。

○虐待にしても相談支援にしても事業者間で差があるので、平均化する必要がある。講演会や勉強会で向上させていく必要があるので、自立支援協議会としてもそういったものを開催していくのが必要であり、それが部会や協議会の役目ではないだろうか。

●最後に、はたらくを考える部会から報告をしていただきたい。

○就労プロジェクトではセミナーの開催について具体的に話し合った。障害者を雇用している企業を講師として、良い面や悪い面、ハローワークなどの支援機関の説明などをした。2 時間以内でセミナーを実施するために施設の見学会などはやめることとした。セミナーの案内の仕方がポイントであり、ただ案内を出すだけではなく市役所を通して市の商工会に協力を求めていくこととした。委員と商工会の話し合いは 3 月中旬から下旬を行う予定である。また、実施時間は予算の関係もあるので、来年度の 9 月か 10 月を目標にすることとした。また、自立支援協議会就労プロジェクトが主催となるが、武蔵村山市、ハローワーク、商工会議所の位置づけをどう整理するのが課題となっている。商工会の協力が得られたら話を先に進めていきたい。

●事務局から連絡事項をお願いしたい。

■4 月から障害程度区分から障害支援区分にかわる。現在の障害程度区分では 1 次のコンピューターでの判定と審査会の 2 次判定が乖離しているので、今回の改正ではそれが近づくとされる。認定調査も 106 項目から 80 項目へ変更される。次に重度訪問介護の対象者の拡大である。現在は重度の肢体不自由者が対象ということであるが、今後は知的障害者や精神障害者（行動上著しい困難を伴う障害者）で障害支援区分 4 以上の方も対象となる。最後にケアホームとグループホームの一元化がなされる。外部サービス利用型というものができ、グループホームに外部の家事援助提供事業者が派遣できるようになる。

	<p>●突然で申し訳ないのが、今年度で会長の職を辞させていただきたい。次年度の自立支援協議会は改めて事務局から連絡があると思われる。</p> <p>○自立支援協議会に放課後等デイサービスの事業者部会を設置したいのであるが、了承していただけるか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>●以上で第6回自立支援協議会を終了する。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input type="checkbox"/>公開</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>	<p>傍聴者： _____ 人</p>
-------------------------	--	---------------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等： _____)</p>
--------------------------	--

庶務担当課	部	課 (内線： _____)
-------	---	----------------

(日本工業規格A列4番)